

## 公園の概要

国営讃岐まんのう公園は、350haの公園面積を有する四国で唯一の国営公園です。本公園は、香川県まんのう町にあるわが国最大級の農業用ため池である「満濃池」を望む丘陵地に位置しており、満濃池とその周辺の豊かな自然、そして空海を生んだ四国の文化的土壌を活かして、基本テーマを『人間との語り、自然・宇宙とのふれあい』とし、昭和59年度に整備に着手、平成25年4月に全面開園しました。

## 4つの基本方針

国営讃岐まんのう公園では、以下に示す4つを基本方針とし、公園づくりを進めていきます。

- 子供から大人まで、四季を通じて多様なレクリエーション活動が行える公園とします。
- 計画地の特性や地域の文化、歴史、風土等を生かした四国らしい公園とします。
- 四国地域の人々の日帰り利用を主体としますが、滞在型の利用や四国を訪れる観光客も利用できる公園とします。
- 公園の豊かな自然とのふれあいや、様々なレクリエーション活動、イベントを通じて豊かな人間形成に役立つ公園とします。

## これまでの経緯

### ■国営讃岐まんのう公園事業の歩み

昭和59年 4月	事業採択	平成元年10月	起工式
昭和59年10月 1日	国営讃岐丘陵公園出張所発足	平成10年 4月18日	第一期開園(80.1ha)
昭和60年 9月	基本計画決定	平成12年 4月29日	皇太子・同妃殿下御臨席のもと 第11回全国「みどりの愛護」つどい開催
昭和61年 8月29日	都市計画決定	平成12年 4月30日	北口園路追加開園(95.8ha)
昭和61年 9月29日	都市計画事業承認	平成14年 4月20日	自然生態園追加開園(111.4ha)
昭和61年10月 1日	国営讃岐まんのう公園工事事務所発足	平成17年 3月19日	満濃池展望遊歩道追加開園(111.8ha)
昭和62年 2月26日	用地買収の協定締結	平成18年12月28日	湖畔通り線園路追加開園(113.9ha)
昭和62年10月	工事着手	平成20年 3月31日	湖畔ゾーン一部追加開園(153.6ha)
昭和63年 1月23日	都市公園を設置すべき区域公告	平成20年 4月26日	健康ゾーン一部追加開園(157.7ha)
		平成23年 4月24日	健康ゾーン一部追加開園(198.0ha)
		平成25年 4月21日	自然活用ゾーン開園(350.0ha)により全面開園

## 国営公園の果たす役割



### 豊かさへの取り組み

広域化・多様化する  
レクリエーション需要に応えます

- 魅力ある空間づくり
- 広域レクリエーションの拠点
- 多様なニーズに対応



### 歴史・文化の保存と継承

我が国の歴史的風土や文化財を  
保存・活用して未来に伝えます

- 歴史的な文化財の保存・復元
- 歴史的風土の保存
- 地域文化の継承
- 伝統的庭園技術の継承



### 環境の保全と創出

都市圏の“緑の核”を守り、  
大切に育てます

- 大規模な緑地の保全
- 市民参加による環境づくり
- 総合的な環境保全の取り組み
- 多様な生物の生育・生息環境の創出
- 環境学習の拠点



### 地域づくりへの貢献

活気に満ちた地域づくりと  
新しい発展の拠点となります

- 地域活性化の拠点
- 地域との連携
- 防災拠点